



皆様のご支援、ご声援、
心より感謝申し上げます。

■1/28、市長始動。

この度、1月23日投開票の美濃加茂市長選挙にて当選いたしました。

このような結果を得ることができたのは、ひとえに多くの支援者や市民の皆様からの多大なるご支援や応援によるものです。心から感謝申し上げます。

※当選のお礼を目的に文書を発行することは認められていませんが、インターネットでの発信は認められているので、このように記させていただきます

さて、私の市長としての任期が1月28日から始まりました。



4年ぶりの市長としての公務。新型コロナウイルス感染症対策、そして、4月から始まる新年度に向けての予算決定についての協議に日々追われています。



市長選挙で、私は『未来への五か条』として5つのテーマに分かれた政策・事業提案を行いました。その中から着手できるものは早速取り組み、時間をかけて実現していくものは情報発信をしながら皆さんと考え実行します。

■2022美濃加茂市長選挙

今回の市長選挙は、私の辞職後に市政運営を担っていただいた伊藤誠一さんとの選挙となりました。「義がないのではないか」、「後任の人を蹴落とすのは酷いのではないか」そんなお声を一部の方からいただきました。しかし、今回の市長選挙に私はどうしても出馬しなければならないという強い想いがありました。その一つは、“市役所新庁舎計画”の説明に対して多くの市民の皆さんが不安を感じていたこと。私自身も一市民として、計画についての疑問を抱いていました。



出典：新庁舎整備事業市民説明会2021説明資料

市役所新庁舎計画は、総事業費約120億円。選定場所は美濃加茂市商業ビル（シティホテル美濃加茂）跡地。このような内容で計画決定が間近となっていました。120億円という財政負担だけでも美濃加茂市の将来に大きな影響を及ぼす新庁舎計画。市民の皆さんが理解し、納得した中で、将来世代にも丁寧に説明できる状態を進めていかなければならないと私は考えます。

選挙結果を受け、新庁舎計画の決定は一度見送り、“なぜ多くの市民が不安を抱える中で新庁舎計画は進み続けてしまったのか”の検証を行い、“これからの時代に必要な市役所とは何か？”という視点で市民の皆さんの意見をいただき、再検討を行うつもりです。

これまでの議論の積み重ねや、計画策定にあたってのデータなどは今後も活用します。一切無駄にはなりません。引き続きのご理解を宜しく願います。

■新型コロナウイルス感染症

生命・健康・暮らしを守るための行動を！
美濃加茂市 オミクロン株 緊急事態宣言

出典：美濃加茂市HP

美濃加茂市は現在『オミクロン株緊急事態宣言』を発令しています。

美濃加茂市の直近1週間（週末現在）の人口10万人当たりの感染者数は451.59人で県内最多。

■1/22~28の人口10万人当たりの感染者数順位(岐阜県)

1位 美濃加茂	451.59人
2位 高山	321.02人
3位 北方	319.75人
4位 可児	305.10人
5位 羽島	295.51人

出典：岐阜県公式・コロナNEWS情報より作成

病院、施設での対応が間に合わなくなり、自宅療養者が毎日増えています。症状が軽いと言われるオミクロン株ですが、その感染力の強さから感染者増による医療現場の逼迫や、その他社会生活に大きな影響を及ぼしてしまいます。

例えば学校現場では、学級閉鎖や学校閉鎖が相次いでいます。学生の皆さんにとって貴重でかけがえのない受験や卒業シーズン。1日でも早い収束のために、感染予防対策と健康管理の徹底をお願いします。

■継続は力なり？

1月30日、毎月続けてきた清掃活動を今月も行いました。



市長就任後も今までと変わらず、活動を続けていきますので宜しくお願いします。また、年末、選挙活動中に積極的に行ったYouTubeやInstagramでの動画による情報発信を今後も定期的に行います。

引き続きご覧いただき、皆さんから

のご質問やご意見をお願いしていきたいと思います。



藤井浩人 YouTube



こちらのQRコードから
もご視聴いただけます。

藤井浩人